市長・副市長の職務・職責について

一般職、特別職について【参照：橋本勇「新版 逐条地方公務員法」(学陽書房)】

	一般職	特別職
指揮命令関係	上司の命令に従って職務を遂行する	法律や自己の学識経験等に従って自らの責任で職務を遂行する
専務職	もっぱら地方公務員としての職務に従事する	他の職務を有することも妨げられない
終身職	定年に達するまでの勤務が想定されている	一定の任期が定められている
成績主義	受験成績、勤務成績など客観的な能力の実証に基づいて採用、昇任などが行われる	選挙、任命権者との信頼関係、特定の知識経験等に基づいて当該職に就く
政治職	政治的な中立性が要求される	政治的な中立性は要求されない

市長、副市長について【参照：松本英昭「新版 逐条地方自治法」(学陽書房)】

	市長	副市長
専任	・ 公選	・ 市長が議会の同意を得て選任 ・ 市長の補助機関
任期	4年	4年
退任	・ 失職 ・ 退職申出 ・ 住民の解職請求 ・ 議会の不信任議決	・ 失職 ・ 退職申出 ・ 住民の解職請求 ・ 市長による解職
職務	・ 市を統括し、代表する ・ 市の事務を管理し、執行する	・ 市長の補佐 ・ 市長の命を受け政策及び企画をつかさどる ・ 職員の担任する事務を監督 ・ 市長の職務の代理 ・ 市長から委任を受け、その権限に属する事務の一部を執行